

刊行のことば

公益財団法人山形県埋蔵文化財センターは、山形県内における遺跡等の埋蔵文化財の調査研究を行い、県民の文化財に関する理解を深めるとともに、文化財保護と地域開発の調和を図り、もって、県民の文化生活の向上と地域文化の振興に寄与することを目的に、平成5年4月に設立され、昨年30周年の節目を迎えました。

設立以来、山形自動車道、東北中央自動車道等の高速道路をはじめとする道路建設や圃場整備等の開発事業に伴い、緊急発掘調査を数多く実施して参りました。その間、国宝に指定された舟形町西ノ前遺跡の土偶「縄文の女神」や国の重要文化財に追加指定された高島町押出遺跡の「彩漆土器」をはじめとして、多数の貴重な埋蔵文化財が発見されました。

また、発掘調査のみならず、調査の成果を県民に広く紹介すべく、発掘調査速報会はもとより、考古学講座や出土品の企画展示、遺跡見学・発掘作業体験の受け入れ等に取り組んで参りました。

さらには、埋蔵文化財の調査研究の一層の充実を図るとともに、職員がこれまでに蓄積した学術的な研究成果を発表する場として、設立10周年を機に、平成15年より、『研究紀要』を刊行して参りました。途中休刊した時期もありましたが、直近の十年間は毎年刊行を重ねて参りました。これもひとえに関係各位と皆様方の御支援と御協力の賜と、心より感謝を申し上げる次第です。

職員の日頃の研鑽の成果である『研究紀要』は、考古学研究の資料としてのみならず、埋蔵文化財に対する県民の皆様方の理解を一層深めるために欠くことのできない刊行物です。山形県内はもとより、他県の調査成果の比較研究等も盛り込まれており、考古学研究の最前線にある成果といっても過言ではなく、地域文化の振興に大きく寄与しているものと自認しております。

このたび、『研究紀要』第17号を上梓いたしました。縄文時代後・晩期を対象とした2編と奈良・平安時代を対象とした1編の論文からなり、特に後二編の論文は当センターが発掘調査した遺跡の資料が基になっており、それぞれの研究分野の深化に貢献すると思われれます。また巻末の小論では発掘調査への三次元写真計測を活用した最新の研究成果が示されています。本書が、学術研究の資料としてのみならず、埋蔵文化財や地域に対する皆様方の御理解を一層深め、広く活用されることを願っております。

令和7年3月

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター
理事長 大泉 定幸

研究紀要刊行事業等の御協賛者芳名

（平成29年11月から12月にかけて協賛を募集しておりました
当センター『研究紀要』の刊行事業等に対して御賛同いただいた方々）

法人・団体

株式会社サンライズ機工 様（酒田市）

環清工業株式会社 様（酒田市）

県教育庁文化財・生涯学習課有志一同 様（山形市）

公益財団法人山形県生涯学習文化財団 様（山形市）

中山地区会 様（上山市）

（その他研究紀要への掲載を希望されなかった方 2団体様）

個人（五十音順）

青山 崇 様 阿子島功 様 安彦政信 様 稲村圭一 様 大類 誠 様

小笠原正道 様 奥山 賢 様 小野 忍 様 菅野 滋 様 草苅信博 様

齋藤 稔 様 佐藤鎮雄 様 佐藤庄一 様 角屋由美子 様 竹田純子 様

中蔦 寛 様 廣瀬 涉 様 松田国明 様 向田明夫 様 村山賢司 様

渡邊弘明 様

（その他研究紀要への掲載を希望されなかった方 25名様）